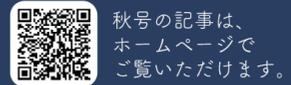


# ゲンキチャージマップ冬号の特集： <sup>たいけつ</sup>さい帯血ってなに？

今回は、血液の難病にかかった患者さんが骨髄移植を必要としていることをお伝えしました。今回冬号では、同じ血液の難病を治療する別の方法「さい帯血移植」のご紹介をします。



秋号の記事は、ホームページでご覧いただけます。



<sup>はつけつびょう</sup>白血病や<sup>さいせいふりょうせいひんけつ</sup>再生不良性貧血という血液の難病は、体の中の「血液をつくる細胞がこわれてしまう病気」です。これを治すために、健康な人から「血液をつくる細胞」を分けてもらう必要があります。これを造血幹細胞移植と言います。

## さい帯血を患者さんのためにご提供いただくことによって、救われる命があります。

造血幹細胞は、骨の中心部（<sup>こつずい</sup>骨髄）にあります。赤ちゃんとお母さんをつなぐ「へその緒」の血液中（さい帯血）にも豊富に含まれています。へその緒は、通常は、出産時に捨てられますが、これをどうか捨てずにご提供いただけましたら幸いです。

日本では年間2,500人程、造血幹細胞移植を必要とする患者さんがおられます。そのうち骨髄移植を受けることができる患者さんは半数程度に過ぎず、希望しても移植を受けることができない患者さんが大勢おられます。私たちは、皆さまのご厚意により提供していただいたさい帯血で、一人でも多くの患者さんが移植を受けられることを願っております。ぜひこの趣旨をご理解の上、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

### 妊婦さんではないけれど、患者さんのためになりたい。そんなあなたは、ぜひ「骨髄バンク」のご登録を。

### さい帯血をご提供いただける産科施設リスト

日本赤十字社近畿ブロック血液センター  
ご提供いただける産科施設

こちらのホームページをご覧ください！  
[https://www.bs.jrc.or.jp/kk/bbc/special/m6\\_02\\_05\\_saitai\\_teikyonoonega.html](https://www.bs.jrc.or.jp/kk/bbc/special/m6_02_05_saitai_teikyonoonega.html)



骨髄バンクの登録は、  
全国の献血ルームにてご登録が可能です！

こちらのホームページをご覧ください！  
大阪府赤十字献血センター献血ルーム紹介  
[www.bs.jrc.or.jp/kk/osaka/place](http://www.bs.jrc.or.jp/kk/osaka/place)



ゲンキチャージマップの内容についてのご意見・ご質問をお寄せください！

ホームページの「お問い合わせ」からご質問をお寄せください！  
[www.genki-charge.com](http://www.genki-charge.com)



## 見知らぬ赤ちゃんと そのお母さんが命の恩人



今堀やヨイさん（62歳）  
自営業を営む傍ら、POLA THE BEAUTY東三国店やその他で事務を担当しています

**白血病と診断された  
当時、自覚症状なし**  
わたしは、12年前の50歳の時に白血病にかかりました。たまたま受けた会社の健康診断で、白血球が通常の10倍以上あると分かり、それが白血病の早期発見につながりました。白血病と診断される直前まで毎週10km走り、合気道もして、健康には自信がありました。「まさか自分が」と、信じられませんでした。

**体力がなかったら  
治療ができない**  
入院して、まず体力テストを受けました。化学療法に耐えられるかどうかのテストです。この時、日頃から体を鍛えておいたことが役立ち、治療が可能になりました。体力が足りなかったら、治療を受けることができませんでした。それくらい身体に負担のかかる治療を受けなければならぬということでした。

**さい帯血移植で  
命が救われました**  
「造血幹細胞移植」の方法には「骨髄移植」「末梢血幹細胞移植」「さい帯血移植」などがありますが、わたしは「さい帯血移植」を選びました。「へその緒の中の造血幹細胞を点滴によって移植する」というものです。見知らぬ妊婦さんが出産時に、その緒を提供してくれたおかげで、わたしにそのチャンスが巡ってきました。移植の成功率は骨髄移植より高く、「来年の今生きている確率は三割」と言われましたが、夫が「イチローの打率と同じくらいやんか」と励ましてくれました。

**欲しかったのは  
治った人の話**  
病院の先生は、万が一の最悪の事例を説明する義務があると思うので、とても怖い可能性についての説明を



「タイ出身の先生や学生さん、様々な人から刺激を受けることが元気の源」と今堀さん。いつも明るく楽しい今堀さんは皆のムードメーカー役！  
取材協力：キックボクシングジム FELLOW江坂

**病気になつてからでは  
体は鍛えられない**  
病気の治療には体力が要ります。ただ、お金もかかります。病気になつてからは、体は鍛えられないし、お金も稼げません。元気なうちに、日々体を鍛えることや働くことの大切さを身をもって感じました。白血病が治つた今は、以前よりももっと働いて、そして、合気道に加えキックボクシングのために頑張っています。

まさかのときのためにも  
元氣なうちに、  
体を鍛えておいてください